SONY®

3-083-085-**05**(1)

フラッシュ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 **電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。**

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

HVL-F32X

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する**
- **万一異常が起きたら**

フラッシュが熱くなり変なにおい、煙が出た場合

→ **❶ フラッシュの電源を切る。**

❷ ソニーの相談窓口に相談する。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・事故などにより死亡や大けがなど人身事故になることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

接触禁止

目次

⚠警告 安全のために 2
特長 4
使用上のご注意 7
お手入れのしかた 7
各部のなまえ 8
操作部のなまえと機能 10
表示パネルについて 11
電池の入れかた 12
電池カバーの閉じかた 13
取り付けかた 14
使いかた 17
READYランプについて 23
バウンス撮影 24
ワイドパネルのセット方法 27
ワイドパネルの戻しかた 28
ワイドパネルが本機からはずれてしまったときの取り付け方法 28
パワーセーブモード 29
テスト発光 30
モデリング発光 31
接続コード 32
バックライト 32
故障かな？と思ったら 33
主な仕様 34
保証書とアフターサービス 36

特長

- 本機はソニー製のアドバンストアクセサリーシュー、またはACC端子付きデジタルスチルカメラ専用です。
- プリフラッシュ機能搭載により、適正光量によるフラッシュ撮影が可能です。*
- 暗い場所でもオートフォーカスが働くAFイルミネーター機能搭載です。*

* デジタルスチルカメラによっては、お使いになれない機種があります。

下記の注意を守らないと、**感電**により**大けが**の原因となります。

分解しない

内部には電圧の高い部分があり、分解したりすると感電の原因となります。
内部の点検や部品の交換はソニーの相談窓口にご相談ください。

発光部を人の目に近づけて発光させない

強力な光は目をいためる恐れがあります。

発光部を皮膚や物で覆ったまま発光させない

火災ややけどの恐れがあります。

落下などで、外装ケースなどが破損したときは、絶対に露出部分に触れない

感電の原因となることがあります。

自動車などの運転中にストロボを操作したり、運転者に向けてストロボを発光させない

交通事故の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- 古い電池と新しい電池、種類、メーカーの異なる電池は一緒に使わない。

⚠注意

- ⊕と⊖の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。

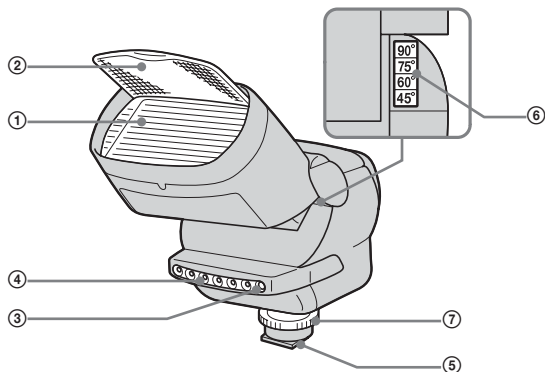
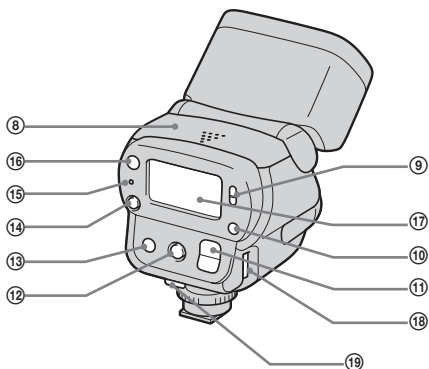
もし電池の液が漏れたときは、電池ケース内の漏れた液をよく拭きとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

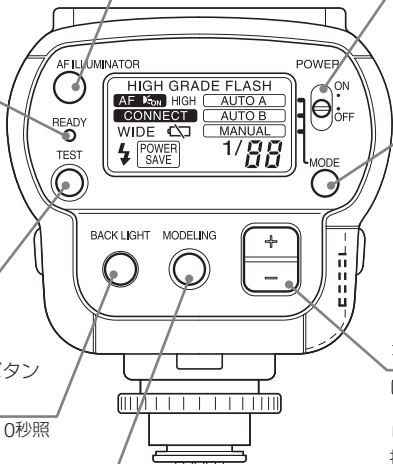
- 本機はハンディカムにはご使用できません。
- 本機の電源ON状態でデジタルスチルカメラの着脱や接続コードの抜き差しを行った場合、誤発光する場合があります。
- 温度の低い場所で使用する場合は、常温時（20℃）に比べて発光回数が減少したり、充電時間が長くなるなど電池の性能が低下しますので、予備の新しい電池を準備されることをおすすめします。ただし、低温のため性能の低下した電池でも常温にもどれば性能は回復します。
- 40℃以上になるような高温の場所に放置したり保管したりしないでください。高温になると内部構造に悪影響があります。（特に夏季の自動車内での置き忘れにご注意ください。）

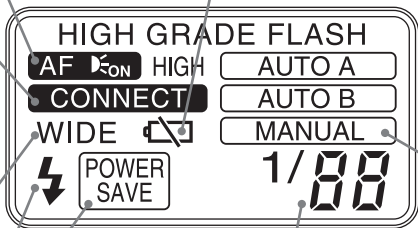
お手入れのしかた

本機をデジタルスチルカメラから取りはずし、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭いてから、もう一度から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

各部のなまえ

① 発光部
② ワイドパネル
③ 調光センサー
④ AFイルミネーター
⑤ アドバンストアクセサリーシュー
⑥ バウンス角度表示
⑦ 回転ノブ

⑧ 電池カバー
⑨ POWERスイッチ
⑩ モードボタン
⑪ 光量設定ボタン
⑫ モデリング発光ボタン
⑬ バックライトボタン
⑭ テスト発光ボタン
⑮ READYランプ
⑯ AFイルミネーター切り換えボタン
⑰ 表示パネル
⑱ 接続コード端子
⑲ コードクランパー

操作部のなまえと機能

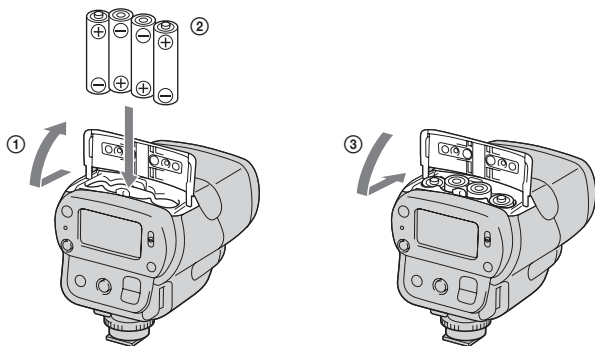
AFイルミネーター切り換えボタン
p. 21
AFイルミネーターを設定するボタンで、1回押すごと
AF ON → AF ON HIGH
→表示なし
READYランプ
p. 23
充電完了時に点灯します。
テスト発光ボタン p. 30
押すと発光します。
バックライトボタン
p. 32
表示パネルを約10秒照明します。
モデリング発光ボタン
p. 31
押すとモデリング発光します。
POWERスイッチ
電源（ON/OFF）切り換えスイッチ
モードボタン
p. 18
AUTO A
AUTO B
MANUAL
の3モードを選ぶことができます。
光量設定 p. 19
MANUAL モード時の光量を設定します。+、− を押すことにより
1/32、1/16、1/8、1/4、1/2、1/1の光量を選べます。
AF ILLUMINATOR
READY
TEST
HIGH GRADE FLASH
AF ON HIGH
CONNECT
WIDE
POWER SAVE
AUTO A
AUTO B
MANUAL
1/88
POWER
ON
OFF
MODE
BACK LIGHT
MODELING
+
−

表示パネルについて

AFイルミネーター表示
AFイルミネーター
通信確認表示
デジタルスチルカメラ本体と通信が正常なときに表示されます。
ワイドパネル
ワイドパネル使用時に表示されます。
発光表示
フラッシュが発光されたときに表示されます。
パワーセービング表示
パワーセービング時に表示されます。
バッテリーエンド表示
バッテリー残量が少なくなったとき表示されます。
HIGH GRADE FLASH
AF
ON
HIGH
AUTO A
CONNECT
AUTO B
WIDE
MANUAL
POWER SAVE
1/88
モード表示
AUTO A
AUTO B
MANUAL
の切り換え表示です。
光量表示
MANUAL 時の光量を表示します。

電池の入れかた

電池は単3型アルカリ乾電池4本をご使用ください。

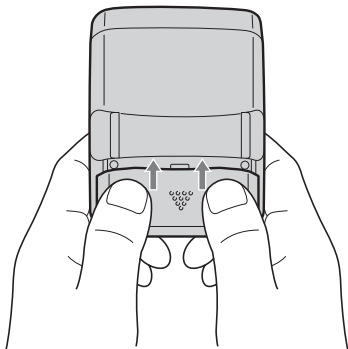
1 電池カバーをスライドして開ける。

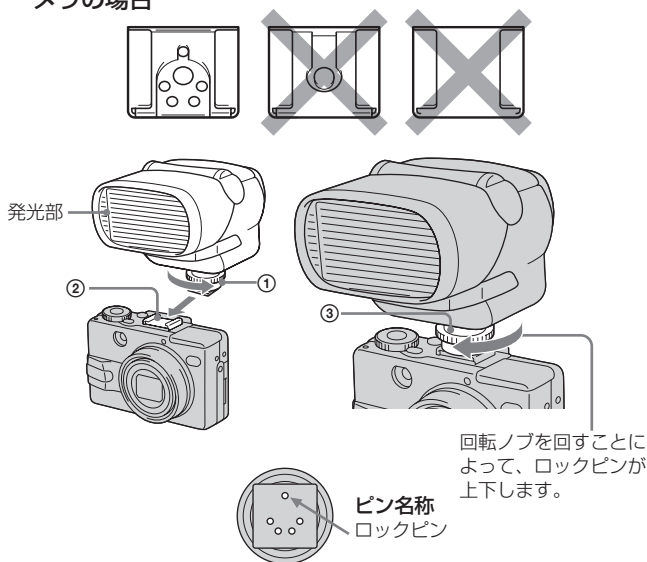
2 電池4本を電池ケース内の表示にしたがって正しく入れる。

3 電池カバーをスライドして閉じる。

ご注意

- 電池は必ず4本とも同じ種類のものをご使用ください。
- 電池の⊕⊖は必ず確認して入れてください。あやまった入れかたをすると、液漏れや破裂の原因となります。

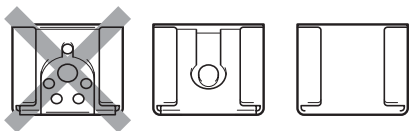
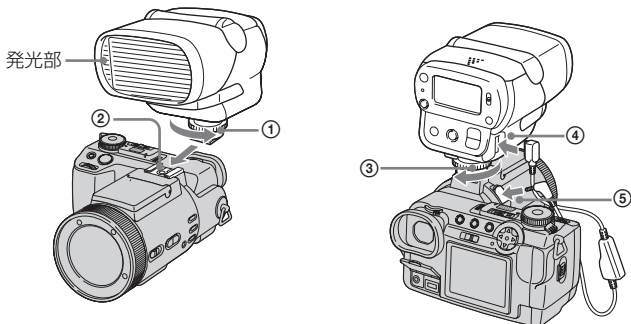
電池カバーの閉じかた

電池カバーをスライドして閉じるとき、イラストのように電池カバーの両サイドを押しながら閉じてください。
最後まで確実に閉じることができます。

取り付けかた

1 アドバンストアクセサリーシュー付きのデジタルスチルカメラの場合

①回転ノブを矢印の方向に回して、ゆるめます。
 *ロックピンをしっかり上まであげてください。

②発光部を前にして、アクセサリーシューにしっかり差し込みます。
 *電源OFFの状態で取り付けてください。

③回転ノブを矢印の方向に回して、締めます。
 *ロックピンをしっかり下まで下げてください。しっかり下げないと、落下することがあります。
 *本機をデジタルスチルカメラに取り付け取りはずすときは、回転ノブをしっかりゆるめて、必ずロックピンを上まであげてください。

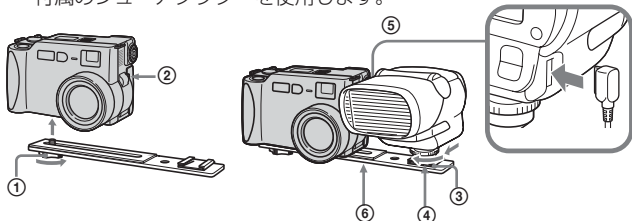
2 アドバンストアクセサリーシュー未対応のデジタルスチルカメラの場合

*付属の接続コードで、本機とデジタルスチルカメラをつないで使用します。

① 回転ノブを矢印の方向に回して、ゆるめます。
② 発光部を前にして、アクセサリーシューにしっかり差し込みます。
③ 回転ノブを矢印の方向に回して、締めます。
④ 本機の接続コード端子に接続コードを取り付けます。
⑤ 接続コードをデジタルスチルカメラのACC端子につなぎます。
*お使いになられるデジタルスチルカメラによって、 接続コードをコードクランパーの間に差し込んで固定してください。

ご注意

本機の電源ON状態でデジタルスチルカメラの着脱や接続コードの抜き差しを行った場合、誤発光する場合があります。

取り付けかた（つづき）

3 アクセサリーシューのないデジタルスチルカメラの場合

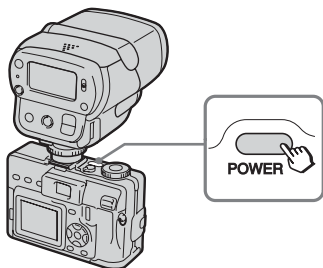
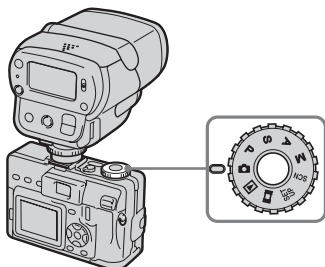
* 付属の接続コードを使用します。
* 付属のシューアダプターを使用します。

- 付属のシューアダプターをご使用になり、デジタルスチルカメラの三脚用ネジ穴にシューアダプターを取り付けます。
  ① 矢印の方向に回して、かるく締めます。
- シューアダプターに本機を差し込みます。
  ② 接続コードをデジタルスチルカメラのACC端子および⚡端子に差し込みます。
  ③ 発光部を前にして、アクセサリーシューにしっかりと差し込みます。
  アクセサリーシューは回転可能です。
  ④ 回転ノブを矢印の方向に回して、締めます。
  ⑤ 本機の接続コード端子に接続コードを取り付けます。
  ⑥ シューアダプターをデジタルスチルカメラに合わせて、①を矢印の方向へしっかり締めます。

ご注意

本機の電源ON状態でデジタルスチルカメラの着脱や接続コードの抜き差しを行った場合、誤発光する場合があります。

使いかた

この説明書は、アドバンストアクセサリーシュー付きのデジタルスチルカメラを例に説明をしています。デジタルスチルカメラの詳しい操作については、お手持ちのデジタルスチルカメラの取扱説明書をご覧ください。

1 デジタルスチルカメラのPOWERボタンを押して、「ON」にする。

2 デジタルスチルカメラのモードダイヤルを「📷」、「P」、「S」、「A」、「M」、「SCN」のいずれかに合わせる。

使いかた（つづき）

3 デジタルスチルカメラのコントロールボタンを押して「フラッシュモード」を選ぶ。

表示はボタンを押すたびに次の順で変わります。

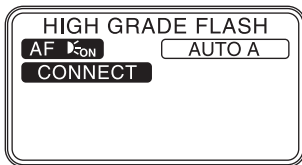
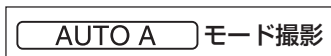
表示なし（オート）→強制発光（⚡）→スローシンクロ（⚡SL）→発光禁止（⚡）

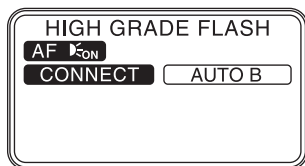
*「SET UP」の「ホットシュー」が［切］であることを確認してください。

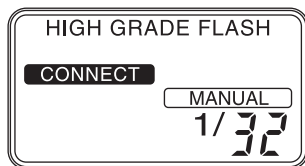
4 本機のPOWERスイッチをスライドさせ、「ON」にする。

- 充電が開始し、READYランプとデジタルスチルカメラの⚡/CHGランプがオレンジ色の点滅になります。
- 発光可能になると、本機のREADYランプがオレンジ色に点灯します。
  デジタルスチルカメラは、充電が完了すると⚡/CHGランプは消灯します。
- 電池が消耗すると充電時間が長くなります。

5 アドバンストアクセサリーシュー対応のデジタルスチルカメラは本機のモードボタンで AUTO A / AUTO B / MANUAL の順序で発光モードを切り換えることができます。

AUTO A モード撮影

本機がプリフラッシュを行い、デジタルスチルカメラが適正光量を算出して、本機を発光させます。

AUTO B モード撮影

本機の調光センサーで自動調光し、適正光量で発光させます。

撮影者の意図により光量を設定できるモードです。
本機の「光量切り換えボタン」により次の手順で光量の選択が可能です。

1/1	1/2	1/4	1/8	1/16	1/32
GN32（22）	GN22（16）	GN16（11）	GN11（8）	GN8（6）	GN6（4）

＊（　）内はWIDEパネル使用時

使いかた（つづき）

- **撮影距離を調べるには**

①モードボタンを押して［MANUAL］を選択します。

②光量切り換えボタンでガイドNoを設定します。

③デジタルスチルカメラ（マニュアルモードでご使用ください。）の絞り値（F値）によって撮影距離が得られます。

撮影距離 ＝ ガイドナンバー ÷ 絞り値（F）

- **ガイドナンバーを調べるには**

①モードボタンを押して［MANUAL］を選択します。

②デジタルスチルカメラの絞り値を設定します。

③絞り値（F）を撮影距離の計算式により、最適のガイドナンバーを光量切り換えボタンで選択します。

ガイドナンバー = 絞り値（F）× 撮影距離

ガイドナンバーの数値は「主な仕様」を参照してください。（P. 34）

ご注意

調光センサーをふさがないでください。適正な光量が得られなくなります。

6 AFイルミネーターについて

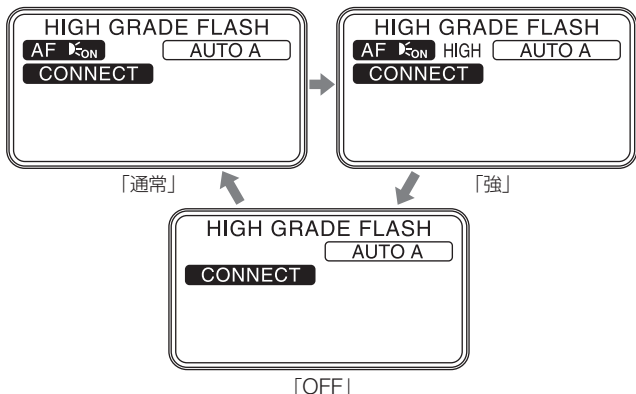
ご注意

AFイルミネーターを人の目に近づけて発光させないでください。

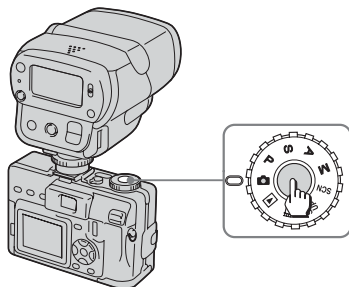
AFイルミネーターの選択を行なう

接続されているデジタルスチルカメラが、外部AFイルミネーターに対応している場合は自動的に AF ON が表示されます。

- 「通常」、「強」、「OFF」を選択することができます。

「通常」 「強」 「OFF」

使いかた（つづき）

AF ILLUMINATOR	デジタルスチルカメラが対応していてデジタルスチルカメラ側で照射許可されている場合 → AF ON → AF ON HIGH → 表示なし
	デジタルスチルカメラが対応していてデジタルスチルカメラ側で照射禁止されている場合 → 表示なし → AF ON 遅い点滅 → AF ON HIGH 遅い点滅
	デジタルスチルカメラが対応していない場合 → 表示なし → AF ON 速い点滅　約2秒後に消灯

7 **デジタルスチルカメラのシャッターボタンを軽く押して、画像を確認する。**
シャッターボタンをさらに押し込む。

本機がシャッターボタンに連動して発光します。

READYランプについて

オレンジ色の点灯の場合

発光できます。

オレンジ色の点滅の場合

充電中です。発光できません。

赤色の点滅の場合

電池が消耗しています。
新しい電池と交換してください。
（長い間お使いにならなかった場合、最初の充電時間が長くなります。）

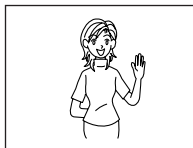
READYランプがつかない場合

発光禁止です。
（デジタルスチルカメラが撮影モード以外の場合）

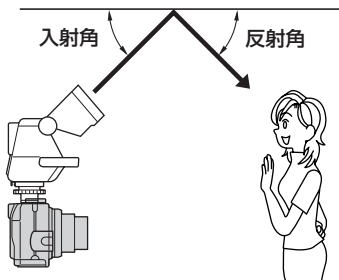
バウンス撮影

全ての発光モードにおいて撮影が可能です。

被写体の背後に壁などがあるときに、発光部を白い天井や壁に向けて発光し、反射光によって被写体を照明します。反射光が広い範囲に回り込んで被写体を照らすので、被写体や壁に出る影をおさえたソフトな画像にすることができます。

バウンスあり

バウンスなし

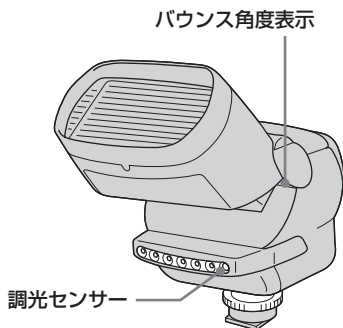
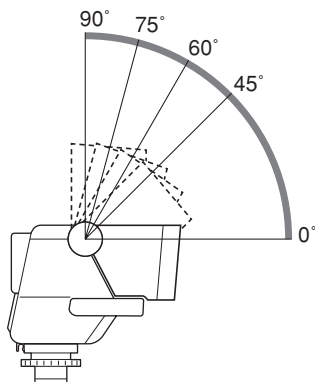
1 反射面での入射角と反射角が等しくなるように発光部の角度を決める。

撮影距離とは、発光部から反射面と、反射面から被写体までの合計距離を表しています。

2 デジタルスチルカメラのシャッターボタンを押す。

ご注意

- バウンス角度が小さいと、反射光に加え、直接光が被写体に当たり照明ムラの原因となります。
- 反射面は白に近く、反射率の高いものを選んでください。反射面が白以外のときは正しい発色が得られません。また、反射率が低いと撮影距離が短くなります。

発光部の回転角度

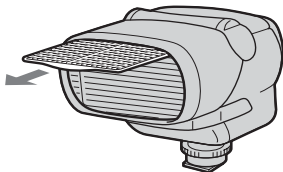
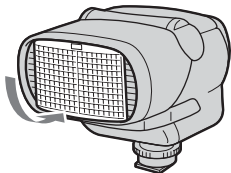
発光部は下方0°から、上方90°まで回転します。上方45°、60°、75°、90°のクリック位置でご使用ください。

バウンス撮影（つづき）

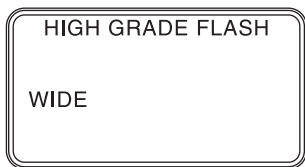
ご注意

- 撮影時、本機の調光センサーを指などでかくさないでください。適正光量が得られなくなります。
- AUTO A でご使用時は、AUTO A が点滅します。
  このとき、適正な光量が得られないことがあります。そのときは、AUTO B または MANUAL でご使用ください。
- 発光部の角度を変えるときに、指を挟まないように充分ご注意ください。

ワイドパネルのセット方法

ワイドコンバーションレンズご使用の場合、ワイドパネルをご使用ください。
ワイドパネルはフラッシュの照射角度を広くします。
（ワイドパネルをセットすると、最大光量が低下します。）

1 ワイドパネルをゆっくり引き出す。

2 発光部側に倒し、カチッと音がするまで軽く押す。

3 表示パネル部にWIDE表示が出ていることを確認する。

HIGH GRADE FLASH

WIDE

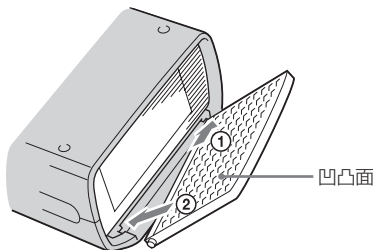
ワイドパネルの戻しかた

1 ワイドパネルを起こして、まっすぐに奥まで押し込みます。

2 表示パネル部に WIDE 表示が消えることを確認する。

ワイドパネルが本機からはずれてしまったときの取り付け方法

1 ワイドパネル凸凹面を上にして回転軸を穴に差しこむ。

2 ワイドパネルを押しこむ。

パワーセーブモード

デジタルスチルカメラとの通信がないときは、本機のPOWERが「ON」の状態でも1分後に自動的にパワーセーブモードに入ります。

パネル表示に POWER SAVE が表示されます。

このときは、充電と全てのボタンの入力を受け付けません。

- 長時間ご使用にならないときは、POWERスイッチをOFFにしてください。

再起動

POWERスイッチを再度ON→OFF→ONにするか、デジタルスチルカメラの電源が投入されると、本機の電源が入ります。

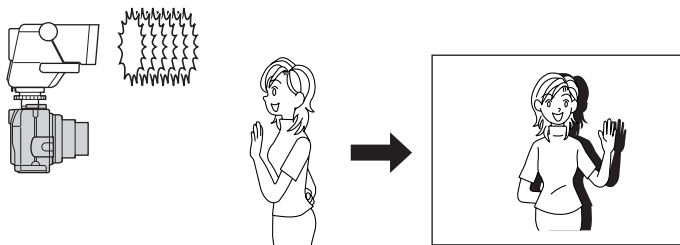
テスト発光

テスト発光ボタンを押すことにより、手動発光させせることができます
本機の発光モードにより動作が異なります。

READYランプが点灯している場合はすべてのモードでご使用できます。

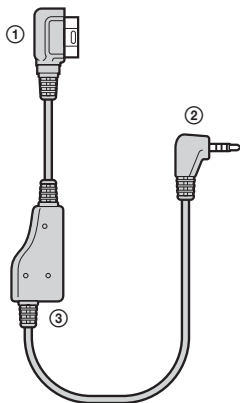
- AUTO A AUTO B、本機単体のときは、固定光量（ガイドNo.11相当）で発光する。
- MANUALの場合
  お使いになられるかたにより選択されている光量で発光する。

モデリング発光

撮影前に予備発光をさせて被写体の影の状態を確認することができます。READYランプが点灯していることを確認後、モデリング発光ボタンを押すと連続的に約2秒発光します。

ご注意

モデリング発光は影の方向や面積を確認するもので、影の強弱は実際の撮影時と異なります。明るい場所や屋外では影は確認できません。

接続コード

デジタルスチルカメラがアドバンストアクセサリーシューに対応していない場合、付属の接続コードにてデジタルスチルカメラに接続をする。

接続方法

①を本機の接続コード端子に接続する。

②をデジタルスチルカメラのACC端子に接続する。

③にはリモコン三脚などが接続可能です。

ご注意

本機の電源ON状態でデジタルスチルカメラの着脱や接続コードの抜き差しを行った場合、誤発光する場合があります。

バックライト

お使いになられるかたの操作により液晶のバックライトを点灯させせます。

①お使いになられるかたによるバックライトボタン操作により点灯する。
（色：アンバー）

②点灯後、約10秒で消灯される。

③点灯中に他のボタン操作があれば10秒延長される。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

こんなときは	つぎのようにしてください
発光しない	• アドバンストアクセサリーシューに確実につながっているか、または接続コードご使用時は、接続コードに確実につながっているかを確認してください。 • 本機のPOWERスイッチが「ON」になっているか確認してください。 • READYランプがオレンジ色に点灯しない場合は、本取扱説明書のREADYランプについてもう一度参照してください。 • 被写体が明るい場合でデジタルスチルカメラのフラッシュ表示がAUTO（表示なし）のときは発光しません。 被写体が明るい場所で発光させたいときは、デジタルスチルカメラのフラッシュボタンを押して強制発光にしてください。 • デジタルスチルカメラの「ホットシュー」が［切］になっていることを確認してください。 • デジタルスチルカメラのモードポジションによっては発光しません。 詳しくは、お手元のデジタルスチルカメラの取扱説明書をもう一度参照してください。

主な仕様

ガイドNo.32相当

*ISO.100.m

光量表示	35mm フィルム換算	28mmフィルム換算 （ワイドパネル使用）
1/1	32	22
1/2	22	16
1/4	16	11
1/8	11	8
1/16	8	6
1/32	6	4

オート有効距離

*ISO.100.m

オートF値	35mmフィルム換算
1.4	2.0m〜22.8m
2.0	1.0m〜16.0m
2.8	1.0m〜11.4m
4.0	1.0m〜8.0m
5.6	1.0m〜5.7m
8.0	1.0m〜4.0m
11.0	1.0m〜2.9m
16.0	1.0m〜2.0m

電源	DC 6 V 単3型アルカリ乾電池×4本
推奨距離	1～16m（F2）
発光回数	150回 （20℃で新しい電池使用）
外形寸法	約77×91×99mm （幅/高さ/奥行き） （最大突起部含まず）
質量	約260g（乾電池含まず）

付属品	シューアダプター（1個） 接続コード （1本） ポーチ （1個） 保証書 （1部） 取扱説明書 （1部）

本機の仕様および外観は、改良のため予告無く変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されておりますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子の悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではフラッシュの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 品名：HVL-F32X
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。
http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口

フリーダイヤル
・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話
・・・・・・・・・・・・・0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル
・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話
・・・・・・・・・・・・・0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談は
　こちらへお問い合わせください。

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「401」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389
受付時間 月～金：9:00～20:00　土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社　　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC (揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。